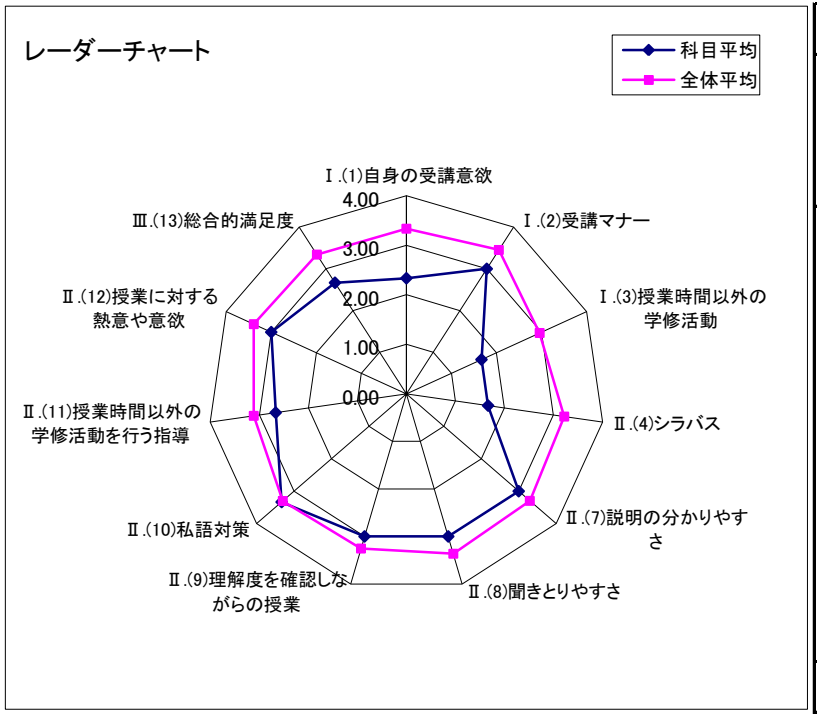
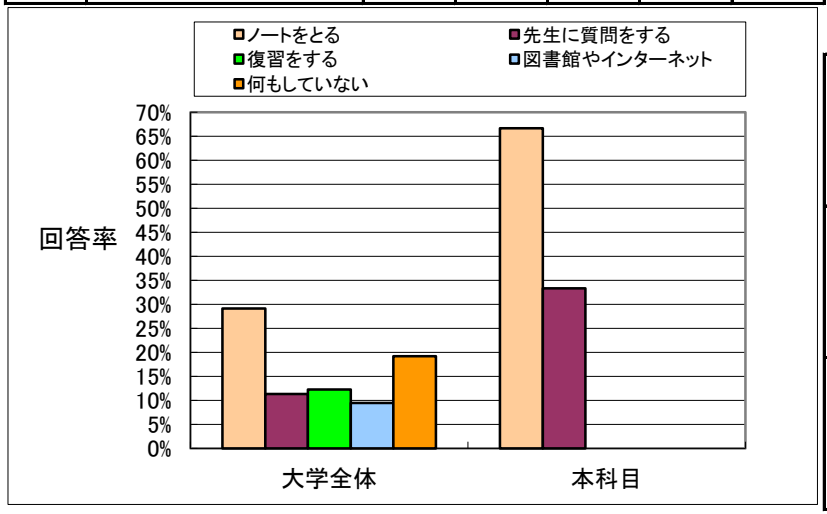
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	2.33	3.33
	Ⅰ.(2)	3.00	3.45
	Ⅰ.(3)	1.67	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	1.67	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.00	3.30
	Ⅱ.(8)	3.00	3.36
	Ⅱ.(9)	3.00	3.25
	Ⅱ.(10)	3.33	3.30
	Ⅱ.(11)	2.67	3.11
	Ⅱ.(12)	3.00	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	2.67	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.33	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	2.81	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	2.67	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	1334
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

学生の習熟度や理解のペースに合わせた結果、授業計画＝指定教科書をすべてやりつくすという所期の目標の達成は困難であった。授業で繰り返し行った問題については、出席した多くの学生の修得を得たと思う。

②授業の進め方について

典型的な問題を例題として解法を解説し、類題を受講生たちに解かせるという順序で授業を進めた。学生による黒板での演習も盛り込めばよかったかもしれないが、少人数の授業なので机間巡回で各学生の特徴をおおかた確かめることができるのでその必要はなかった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生自身の受講姿勢で授業時間外の学修活動の得点が圧倒的に低い。この科目は導入基礎科目であり、苦手な学生にとっては授業時間での学習に加え学生の自学自習を相当必要とする。単位を取るための授業ではなく、授業で計画されている内容＝教科書の内容が必須の知識であることを肝に銘じて、自学自習の上、授業に臨んでほしい。教員は、そんな克服意識、克己心を持った学生たちへの助言・サポートに労力を惜しまない。今後もあらゆる機会を通じて学生に克己心の必要性を執拗に求め、授業計画、内容、方法の改善を行っていく。

奈良産業大学